

来年度予算で 知事に要望書

公明県議団

公明党県議団（伊吹信一幹事長）は3日、来年度予算について、三村申吾知事に要望書を提出した。提出後、伊吹幹事長は「生活の最前線の声を拾い上げた。これをどう受け止めてもらえるか、しっかり見極めたい」と述べ、三村知事の対応が知事選支援の前提条件になるとした。

要望書は予算編成での考慮すべき内容として、①健やかな暮らしの推進②産業・雇用の創出③青森県力の発信――を柱に、8分野123項目の事業などを記載した。

陸奥新報2010年12月4日（土）付け5面記事掲載

公明党県議団が 予算要望書提出

三村知事と7日会談

来月6月の青森県知事選に絡み、公明党県議団（伊吹信一幹事長）は3日、3選出馬を表明している三村申吾知事に対し、2011年度当初予算に関する要望書を提出した。同党は、今回の要望がどの程度反映されるかなどを踏まえ、知事選の対応を決める。7日には、伊吹幹事長が三村知事と直接会談する。

要望には、医療や雇用など8分野で123項目を盛り込んだ。

3日、県庁に三村知事を訪ねた伊吹幹事長は「要望を十分考慮し予算編成に当たることが強く求める」と、要望書を手渡した。

これに対して三村知

事は「要望を各分野で参考にしたい。施策の選択と集中を徹底し、国などとも連携しながら編成していきたい」と述べた。

要望書を提出した理由について、伊吹幹事長は取材に「知事選も控えており、予算編成の内容に県民も高い関心を示している」と説明。知事選への対応に關しては「思いをどう受け止めてもらえるか見届けていきたい」と強調した。7日の会談は、三村知事側から要望があったという。

デーリー東北2010年12月4日（土）付け2面記事掲載